

平成 31 年度入試【編入学一般入試】問題

小 論 文

(総合理工学部 建築・生産設計工学科)

注 意

- 1 問題紙は指示があるまで開いてはならない。
- 2 問題紙は参考資料を含めて3ページである。
解答用紙2枚(下書き用紙も2枚)である。
指示があってから確認し、解答用紙の所定の欄に受験番号を記入すること。
- 3 解答はすべて解答用紙の所定のところに記入すること。
- 4 解答用紙は下書き用紙も含めて全て提出すること。
- 5 問題紙は持ち帰ること。

【問題 1】

現在、我が国では少子高齢化が急速に進んでいる。資料図 1 に示すように、2016 年（平成 28 年）の 65 歳以上の高齢化率は約 27% に達している。

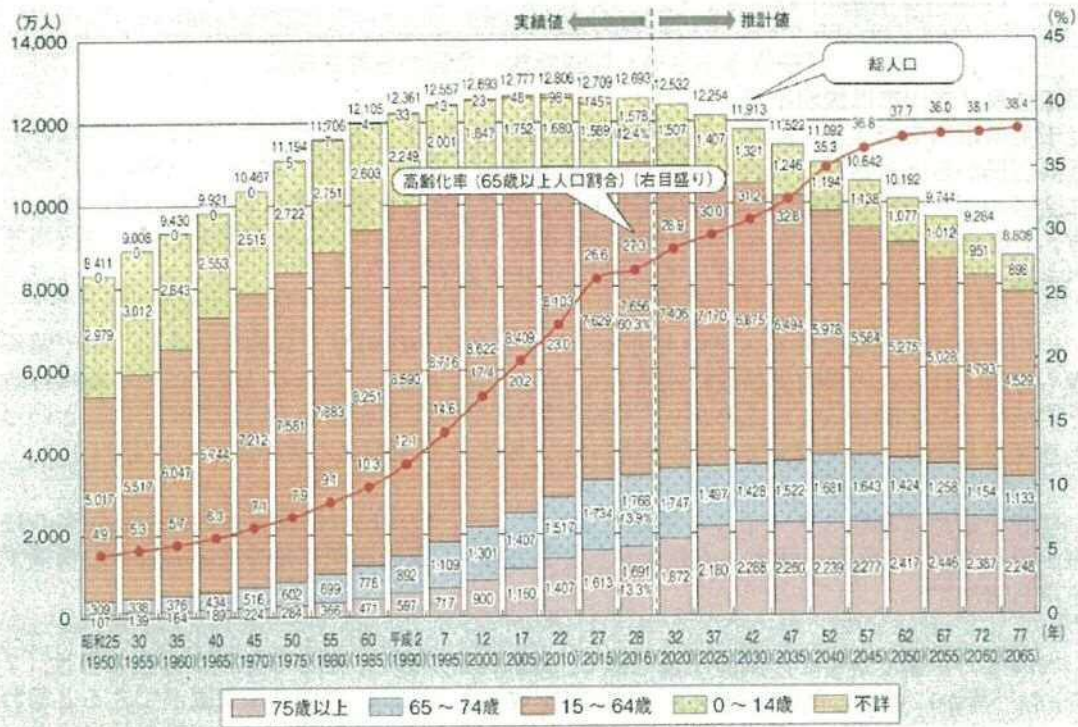
まず第 1 としてこうした人口動態の現状と将来推計を考察した上で、第 2 として今後のまちづくりや公共施設づくりがどうあるべきかについて、600 字以内で自分の考えを述べよ。

【問題 2】

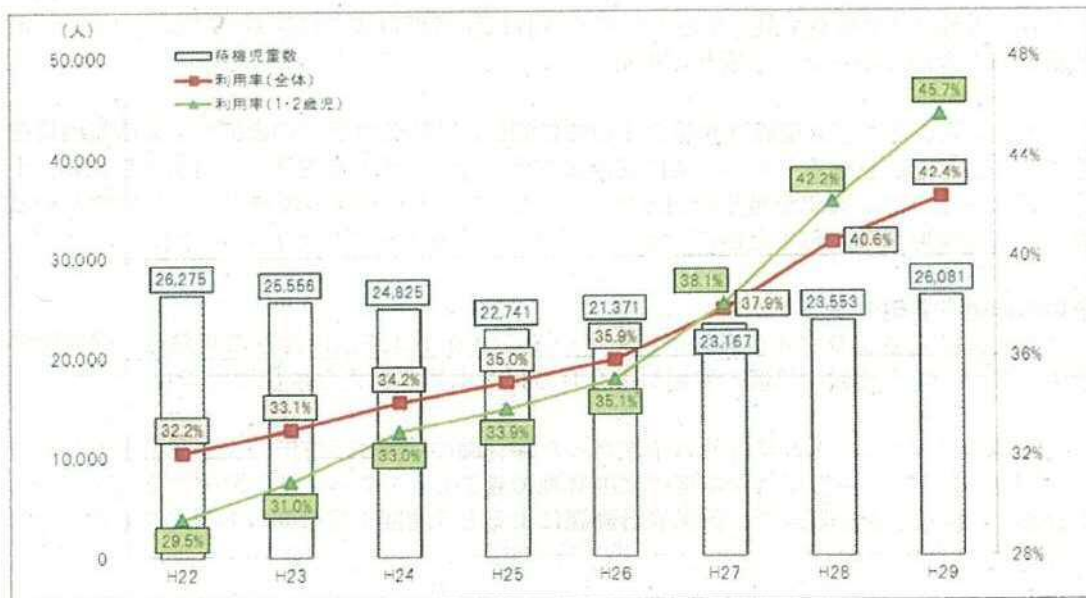
子育て中の保護者が保育所または学童保育施設に入所申請をしているにもかかわらず、入所できない待機児童問題が深刻化している。平成 29 年に厚生労働省が公表したデータによると、全国の待機児童数は 26,081 人で、前年より 2,528 人増加している（資料図 2）。こういった待機児童問題を解消すべく、保育所等の建設が急務といえるが、近隣住民の理解が得られず、建設を断念するケースは少なくない（別紙記事）。

資料図 2 より現代における子育て環境の変化を読み解き、保育園建設に関して、近隣住民に理解を得るプロセス、環境や立地、園舎建築の工夫など、いくつかの視点を複合させ、理想的な保育園の在り方について 600 字以内で自分の考えを述べよ。

参考資料（資料図）



資料図1 我が国の高齢化の推移と将来推計
 (内閣府HP：平成29年版高齢社会白書(概要版) から)



資料図2 保育所等待機児童数及び保育所等利用率の推移
 (厚生労働省HP：保育所等関連状況取りまとめ(平成29年4月1日) から)

参考資料（別紙記事）

（この部分につきましては、著作権の関係により、公開しません。）

（毎日新聞HP：<https://mainichi.jp/articles/20160413/k00/00m/040/115000c>（2016年4月12日）から）